



Science & Global vol.28

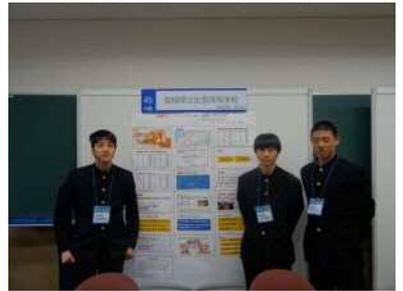
本校は、本年度で第2期スーパーサイエンスハイスクール（SSH）としての指定を受けて2年目となります。昨年度末まで指定を受けていたスーパーグローバルハイスクール（SGH）事業は終了しましたが、SSH事業を通じて、地域や外部の皆様からのご協力を得ながら、グローバル人材の育成に努めていきます。これまで同様に地域の皆様と関わり、外部の皆様のご協力もいただきながら、第1期SSH事業やSGH事業により得た知見等も生かして、生徒の資質・能力（コンピテンシー）を伸ばす取組を行っていきます。

★全国SGH課題研究発表会2019「SGH甲子園」★

2019年3月23日（土）、出雲高校2年生が取り組んでいる課題研究の班の一つである政7A班が全国SGH課題研究発表会2019「SGH甲子園」で研究成果ポスタープレゼンテーションを行いました。この発表会は関西学院大学・大阪大学・大阪教育大学が主催し、世界を変えるグローバルリーダーを育成する目的で、課題研究を行ってきた高校生たちが成果発表を共有し、内容を競うものです。

2019年は、109チームが選ばれ、出雲高校もその1チームとして発表を行いました。参加した政7B班は「出雲市に『ベビーブーム』を起こすには？」というテーマで約半年間課題研究に取り組み、発表練習も重ねてきました。結果として、入賞することは叶いませんでしたが、本番では生徒たちが自分たちで協議しながら、より分かりやすく伝えるための工夫を模索した発表を行いました。生徒たちも「様々な学校の発表を聞いたことでより研究に励みたい」と刺激を受けていました。

また、この発表の様子を2019年6月10日発行の高校生新聞6月号に記事として取りあげていただきました。発表者本人だけでなく、同じ学年の生徒や今後課題研究に取り組む1、2年生にとっても良い刺激になったことと思います。



★2年生普通科課題研究ゼミ別集会の開催★

6月7日（金）に2年生普通科課題研究のゼミ別集会を実施しました。2年生普通科では、理系と文系あわせて54の班に分かれて、それぞれ課題を設定して研究を行います。4月から生徒たちは、興味・関心や日常生活の困ったことを題材に研究テーマを設定し、その後、文献調査を行い、その研究テーマに関して理解を深めていきます。

今回の集会では、各班の研究の現状を発表することで、ゼミ別の研究グループの生徒同士で、また各グループのアドバイザー教員との情報共有を図りました。いくつかの会場に分かれて行われたこの集会では、発表されたテーマに対して、生徒や先生方から活発な意見や質問が出されました。今後は集会で出されたこれらの意見を基に、より研究内容を深めていきます。



★サンタクララから高校生の来校★

6月13日（木）～14日（金）の2日間、サンタクララの高校生3名が来校しました。ホームステイ先の本校生徒と同じクラスで同じ授業を受け、放課後には部活動見学等を行いました。13日放課後には中庭でダンス同好会のパフォーマンスを含む交流会が開催されました。3名とも日本に興味をもって、短い間でしたが、出雲での滞在を楽しんだ様子でした。



★SSパワーアップセミナー（講演会）を行いました★

6月17日（月）に、今年度第1回目の「SSパワーアップセミナー」を実施しました。

千葉工業大学未来ロボット技術研究センター所長古田貴之氏をお招きして、『ロボット技術と未来』と題してご講演をいただきました。会場となった出雲市民会館には、全校生徒と教職員、保護者、県内教育関係者など、およそ1000人の聴衆が参集しました。

古田先生は、最初にご自身が開発されたロボットについて、動画を使いながら楽しく分かりやすくお話されました。先生が開発されたロボットは私たちの生活の中に多く存在していることを知り、生徒たちは驚嘆していました。その後、人工知能でできること、まだできないことについて触れられ、今後私たちが人工知能と共創しながら生きることの重要性を話されました。

講演後の質疑応答では、生徒の多くの質問に対して、ひとつひとつ丁寧に答えていただくとともに、将来ロボット工学を学びたいと考えている生徒に有益なアドバイスを与えていただきました。

この講演会では今後予測不可能な未来を生きていく生徒たちにいくつかの示唆を与えてくださり、大変有意義なものとなりました。



★益田さいえんすたうんに参加しました★

7月6日（土）に、益田市グラントワで行われた「益田さいえんすたうん」に本校自然科学部17名が参加しました。「益田さいえんすたうん」は、本校と同じSSH指定校である益田高校が主催で、科学技術系人材の育成と地域への科学教育を広げることを目的としています。

7月5、6日の2日間で開催され、本校は2日目である6日に、科学ポスター発表、企業ブース、科学チャレンジ、川口淳一郎氏の講演会に参加しました。科学チャレンジは、右の写真のような斜面においてダンボールで作った作品を転がし、ゴールにどれだけ近づけるかを競います。

今回は、益田高校や他校の理数科、自然科学部などを含め45チームの参加がありました。本校からは4チームが参加しました。惜しくも入賞はなりませんでした。短い準備期間で創意工夫のある作品が作れたこと、また他校の作品を見て新たな発想が得られたことなど多くの収穫があったようでした。

また講演会では、小惑星探査機はやぶさのプロジェクトマネージャーを務められた川口淳一郎氏からお話を聞きました。講演の中で、

「セレンディピティ（思いがけない発見）が科学、芸術の種である。」、「セレンディピティを生かすためには行動、気づき、受容が必要である。」、「やってみなくては何も始まらない。」というお話がありました。この講演を聞いて、参加生徒にも新たなセレンディピティがあったかと思えます。学んだことをぜひこれからの行動に活かしてほしいと思います。



今後の予定

- | | |
|----------|---|
| 7月25日（木） | 【第3学年】地域・社会と関わりながら学びを深める活動 |
| ・26日（金） | ・キッズのためのスーパーサイエンス（於：出雲科学館）
・地域創生に向けた高校生からの提案（於：出雲市役所、出雲高校久徴会館）
・島根大学におけるグローバルセッション（於：出雲高校久徴会館、島根大学） |
| 7月27日（土） | 【希望者】科学の縁結び祭り（於：出雲科学館） |
| ・28日（日） | |
| 7月28日（日） | 【希望者】海外の大学で学ぶ学生とのグローバルセッション（於：出雲高校久徴会館） |